

## 5 病院事業

### (1) 事業数及び経営規模

平成25年度における県内の市町村等が経営する病院事業の数は前年度と同数の18事業で、その病院数は前年度から1病院減少（石巻市立雄勝病院が廃止。）し27病院となっている。事業数及び病院数のうち、1事業1病院（女川町）は想定企業会計である。また、石巻市立病院は東日本大震災により被災したため、一時的に無床診療所として診療を行っているが、決算状況調査上は1病院として計上している。

※ 想定企業会計とは、従前は公営企業会計として特別会計を設置していたが、現在はこれを廃止し、一般会計等において精算及び地方債の償還を行っている場合等において、決算統計上、これに係る一切の収支を一般会計等から分別し、当該事業に係る公営企業会計が設けられているものと想定し、当該想定会計において経理されたものとして取り扱っている会計のことをいう。

病院（想定企業会計を除く。）を経営主体別にみると、市営が16病院、町営が6病院、一部事務組合営が4病院となっている。

#### 【市営：7事業16病院】

仙台市、石巻市（2病院）、塩竈市、気仙沼市（2病院）、登米市（3病院）、栗原市（3病院）、大崎市（4病院）

#### 【町営：6事業6病院】

蔵王町、川崎町、丸森町、涌谷町、美里町、南三陸町

#### 【一部事務組合営：4事業4病院】

白石市外二町組合、黒川地域行政事務組合、加美郡保健医療福祉行政事務組合、みやぎ県南中核病院企業団

経営規模別にみると、300床以上は前年度と同数の6病院、200床以上300床未満は前年度に比べ1病院減少し1病院、100床以上200床未満は前年度と同数の5病院、50床以上100床未満も前年度と同数の7病院、50床未満も前年度と同数の7病院となっている。このうち、300床以上の病院は、仙台市立病院（525床）、大崎市民病院本院（456床）、気仙沼市立病院（451床）、みやぎ県南中核病院（310床）、公立刈田総合病院（308床）及び栗原市立栗原中央病院（300床）で、いずれも地域の基幹病院として機能している。

また、地方公営企業法の規定の全部を適用している事業は前年度と同数の7事業（仙台市、塩竈市、登米市、栗原市、大崎市、涌谷町及びみやぎ県南中核病院企業団）、一部を適用している事業も前年度と同数の9事業、指定管理者制度（代行制）導入も前年度と同数の1事業（黒川地域行政事務組合）となっている。

第1表 経営主体別・経営規模別の状況

（単位：病院、事業、％）

経営規模	市		町		一 組 営		計		構 成 比	
	病床数	病床数	病床数	病床数	病床数	病床数	病床数	病床数	病床数	
300床以上	4	1,732	0	0	2	618	6	2,350	23.1	57.7
200床以上300床未満	1	258	0	0	0	0	1	258	3.8	6.3
100床以上200床未満	3	411	1	121	1	170	5	702	19.2	17.2
50床以上100床未満	3	244	3	200	1	90	7	534	26.9	13.1
50床未満	5	152	2	76	0	0	7	228	26.9	5.6
計（病院）	16	2,797	6	397	4	878	26	4,072	100.0	100.0
経営形態	全部適用		5		1		1	7		41.2
	一部適用		2		5		2	9		52.9
	指定管理者（代行制）						1	1		5.9
	計（事業）		7		6		4	17		100.0

（注）病院数は、年度末現在の数である。

## (2) 業務の状況

平成25年度末における病床数は4,072床で、前年度に比べ246床(5.7%)減少している。病院別では、石巻市立病院が一時的な診療所化により206床の減床、石巻市立雄勝病院が廃止により40床の減床を行っている。

患者数は、年延入院患者数が1,091千人で、前年度に比べ25千人(2.2%)減少し、年延外来患者数は2,071千人で、前年度に比べ47千人(2.2%)減少している。また、1病院当たりの1日平均入院患者数は120人で、前年度に比べ7人(5.5%)減少し、1病院当たりの1日平均外来患者数は321人で、前年度に比べ8人(2.4%)減少している。

病床利用率は73.4%で、前年度に比べ2.4ポイント上昇している。このうち、一般病床利用率は73.2%で、前年度に比べ2.1ポイント上昇している。

平成25年度末における職員数は4,832人で、前年度に比べ85人(1.8%)増加している。

第2表 病床数及び患者数の推移

年 度		21	22	23	24	25	対前年度比較	
							b - a	(c/a)
項 目		a	b	c	×100(%)			
					年度末病床数	A	4,709	4,589
年 延 患 者 数 (千人)	入 院	1,278	1,233	1,144	1,116	1,091	▲25	▲2.2
	外 来	2,271	2,177	2,146	2,118	2,071	▲47	▲2.2
一 日 平 均 患 者 数 (人/1病院)	入 院	121	121	128	127	120	▲7	▲5.5
	外 来	316	313	328	329	321	▲8	▲2.4
病 床 利 用 率 (%)		(75.2)	(75.5)	(72.0)	(71.1)	(73.2)	(2.1)	—
		74.4	75.1	71.8	71.0	73.4	2.4	—
年 度 末 職 員 数	B	4,892	4,991	4,738	4,747	4,832	85	1.8
一 床 当 たり 年 度 末 職 員 数	B/A	1.04	1.09	1.10	1.10	1.19	0.09	—

(注)1 病床利用率欄の( )内は、一般病床分である。

2 平成22年度の年延患者数、一日平均患者数及び病床利用率は、東日本大震災の影響により算出できない南三陸町の数値を除いている。

## (3) 経営状況

### ア 損益収支の状況

病院事業の経常収益は813億48百万円、経常費用は838億19百万円となっており、この結果、経常収支比率が97.1%となり、前年度に比べ1.0ポイント低下している。

経常利益が生じた事業は17事業(想定企業会計を除く。)のうち5事業(病院数では26病院のうち7病院)で、前年度に比べ1事業増加(1病院増加)となっており、その額は12億20百万円で、前年度に比べ3億56百万円(22.6%)減少している。

経常損失が生じた事業は12事業(19病院)で、前年度に比べ2事業減少(1病院減少)となっており、その額は36億90百万円で、前年度に比べ5億50百万円(17.5%)増加している。

経常収益に特別利益を加えた総収益は818億51百万円、経常費用に特別損失を加えた総費用

は840億6百万円となっており、この結果、総収支比率は97.4%で、前年度に比べ0.9ポイント低下している。

経常損益に特別損益を加減した純損益をみると、21億55百万円の純損失が生じており、前年度に比べ7億93百万円(58.2%)増加している。

累積欠損金を有する事業は17事業(25病院)で、前年度と同数(2病院減少)であり、その額は684億2百万円で、前年度に比べ30億75百万円(4.3%)減少している。

なお、前年度、不良債務を有する事業は2事業であったが、本年度は2事業とも解消した。

第3表 病院事業の損益収支状況の推移

(単位:百万円、%)

項目	年度	21	22	23	24	25	対前年度比較	
							b-a	(c/a)
					a	b	c	×100
総 収 益	A	81,739	83,681	81,717	81,321	81,851	530	0.7
経 常 収 益	B	81,007	82,942	80,329	80,757	81,348	591	0.7
医 業 収 益	C	71,704	73,698	70,201	71,624	72,204	580	0.8
うち料金収入		64,771	66,908	63,788	65,204	65,634	430	0.7
うち受託工事収益	D	0	0	0	0	0	0	—
特 別 利 益		732	739	1,388	564	503	▲61	▲10.9
総 費 用	E	84,217	86,419	86,164	82,683	84,006	1,323	1.6
経 常 費 用	F	83,949	85,318	81,300	82,321	83,819	1,498	1.8
医 業 費 用		80,204	81,642	77,888	78,913	80,482	1,568	2.0
うち職員給与費		37,514	38,098	37,331	37,188	37,716	528	1.4
支 払 利 息		1,807	1,714	1,619	1,637	1,542	▲95	▲5.8
特 別 損 失		268	1,101	4,864	362	187	▲175	▲48.3
経 常 損 益		▲2,942	▲2,376	▲971	▲1,564	▲2,470	▲906	58.0
経 常 利 益		573	714	1,306	1,576	1,220	▲356	▲22.6
経 常 損 失	G	3,515	3,090	2,276	3,140	3,690	550	17.5
純 損 益		▲2,478	▲2,738	▲4,447	▲1,362	▲2,155	▲793	58.2
純 利 益		821	931	1,424	1,715	1,372	▲343	▲20.0
純 損 失		3,299	3,669	5,871	3,077	3,527	450	14.6
累 積 欠 損 金	H	66,387	69,124	73,571	71,477	68,402	▲3,075	▲4.3
不 良 債 務	I	1,636	1,297	558	231	0	▲231	皆減
経 常 収 支 比 率 B/F		96.5	97.2	98.8	98.1	97.1	▲1.0	—
総 収 支 比 率 A/E		97.1	96.8	94.8	98.4	97.4	▲0.9	—
医業収益 に対する 割合	経 常 損 失 比 率 G/(C-D)	4.9	4.2	3.2	4.4	5.1	0.7	—
	累 積 欠 損 金 比 率 H/(C-D)	92.6	93.8	104.8	99.8	94.7	▲5.1	—
	不 良 債 務 比 率 I/(C-D)	2.3	1.8	0.8	0.3	0.0	▲0.3	—
総 事 業 数	J	18	18	18	18	18	0	0.0
経常損失を生じた事業数	K	15	14	11	14	12	▲2	▲14.3
累積欠損金を有する事業数	L	18	18	18	17	17	0	0.0
不良債務を有する事業数	M	3	3	2	2	0	▲2	皆減
総事業数 に対する 割合	経常損失を生じた事業数 K/J	83.3	77.8	61.1	77.8	66.7	▲11.1	—
	累積欠損金を有する事業数 L/J	100.0	100.0	100.0	94.4	94.4	0.0	—
	不良債務を有する事業数 M/J	16.7	16.7	11.1	11.1	0.0	▲11.1	—

(注)不良債務=流動負債-(流動資産-翌年度へ繰り越される支出の財源充当額)

イ 資本収支の状況

病院事業の資本的支出は335億40百万円で、前年度に比べ158億9百万円（89.2%）増加している。このうち、建設改良費は271億12百万円で、前年度に比べ164億30百万円（153.8%）増加しており、企業債償還金は59億23百万円で、前年度に比べ65百万円（1.1%）増加している。

資本的支出の財源は、外部資金が企業債や他会計出資金等の297億91百万円であり、内部資金（資本的収入が資本的支出に不足する分の補てん財源）が損益勘定留保資金等の18億8百万円である。

なお、資本的支出に占める建設改良費の割合は80.8%で、前年度に比べ20.6ポイント上昇しており、建設改良のための企業債償還金の割合は16.4%で、前年度に比べ11.5ポイント低下している。

第4表 病院事業の資本収支状況の推移

(単位:百万円、%)

項 目	年 度	21	22	23	24	25	対前年度比較			
							a	b	b - a	(c/a)
									c	×100
資本的支出	建設改良費	3,516	3,850	17,897	10,683	27,112	16,430	153.8		
	企業債償還金	4,939	5,090	5,150	5,858	5,923	65	1.1		
	うち建設改良費のためのもの	4,522	4,670	4,727	4,940	5,492	552	11.2		
	その他	181	217	349	1,191	505	▲686	▲57.6		
	計	8,636	9,157	23,397	17,732	33,540	15,809	89.2		
同 上 財 源	内部資金	1,753	1,575	1,894	2,877	1,808	▲1,069	▲37.1		
	外部資金	6,883	7,572	21,503	14,855	29,791	14,936	100.5		
	企業債	1,846	2,328	14,029	6,317	16,521	10,204	161.5		
	うち建設改良費のためのもの	1,846	2,328	14,029	5,827	16,521	10,694	183.5		
	他会計出資金	3,931	3,993	4,559	4,553	7,666	3,114	68.4		
	他会計負担金	735	320	368	193	553	360	186.6		
	他会計借入金	0	0	0	0	0	0	—		
	他会計補助金	152	148	729	196	529	333	169.8		
	国・県補助金	126	975	1,222	3,385	4,564	1,179	34.8		
	繰越事業財源(▲)	16	190	188	23	23	▲1	▲3.5		
計	8,636	9,147	23,397	17,732	31,599	13,867	78.2			
財源不足額	0	10	0	0	1,941	1,941	皆増			
当年度同意等債で未借入又は未発行の額	0	10	0	0	1,941	1,941	皆増			
実質財源不足額	0	0	0	0	0	0	—			

(注) 1 内部資金＝補てん財源合計額－前年度からの繰越工事資金＋固定資産売却代金

2 外部資金＝資本的支出額－(内部資金＋財源不足額)

ウ 料金収入の状況

料金収入（入院・外来収益）は656億34百万円で、前年度に比べ4億30百万円（0.7%）増加している。

患者1人1日当たりの診療収入は、入院収益が39,777円で、前年度に比べ1,144円（3.0%）増加しており、外来収益が10,736円で307円（2.9%）増加している。

職員1人1日当たりの診療収入は、医師1人当たりでは275,580円で7,037円（2.5%）減少しており、看護部門1人当たりでは52,887円で737円（1.4%）減少している。

第5表 料金収入の状況の推移

（単位：円、%）

項 目	年 度	21	22	23	24 a	25 b	対前年度比較	
							b - a c	(c/a) ×100
料 金 収 入（百万円）		64,771	66,908	63,788	65,204	65,634	430	0.7
内 訳	入院収益（百万円）	42,998	44,772	42,084	43,117	43,398	281	0.7
	外来収益（百万円）	21,773	22,136	21,704	22,087	22,236	149	0.7
患者1人1日 当たり診療 収 入	入 院	33,635	35,674	36,789	38,633	39,777	1,144	3.0
	外 来	9,588	10,021	10,112	10,429	10,736	307	2.9
職員1人1日 当たり診療 収 入	医 師	290,357	294,630	282,201	282,617	275,580	▲7,037	▲2.5
	看護部門	52,231	54,081	52,732	53,624	52,887	▲737	▲1.4

（注）平成22年度の患者1人1日当たり診療収入及び職員1人1日当たり診療収入は、東日本大震災の影響により算出できない南三陸町の数値を除いている。

エ 他会計繰入金の状況

他会計からの繰入金（借入金を含む。）は、収益的収入（特別利益を含む。）に計上される繰入金が114億92百万円、資本的収入に計上される繰入金が87億49百万円、合わせて202億41百万円で、前年度に比べ34億4百万円（20.2%）増加している。

収益的収入に計上される他会計からの繰入金の総収益に対する割合は14.0%で、前年度に比べ0.6ポイント低下しており、資本的収入に計上される他会計からの繰入金の資本的収入合計に対する割合は29.4%で、前年度に比べ3.9ポイント低下している。

病床1床当たりの他会計からの繰入金は497万1千円で、前年度に比べ107万2千円（27.5%）増加している。

第6表 他会計からの繰入金の状況の推移

（単位：百万円、%）

項 目		年 度					対前年度比較		
		21	22	23	24 a	25 b	b - a c	(c/a) ×100	
他 会 計 か ら の 繰 入 金	収 益 的 収 入 A	12,705	12,790	13,236	11,895	11,492	▲403	▲3.4	
	うち	負 担 金	9,932	10,196	9,458	9,226	8,962	▲264	▲2.9
		補 助 金	2,151	1,965	3,243	2,126	2,043	▲82	▲3.9
		特 別 利 益	622	630	536	543	486	▲57	▲10.5
	資 本 的 収 入 B	4,818	4,461	5,656	4,942	8,749	3,807	77.0	
	うち	出 資 金	3,931	3,993	4,559	4,553	7,666	3,114	68.4
		負 担 金	735	320	368	193	553	360	186.6
		借 入 金	0	0	0	0	0	0	—
		補 助 金	152	148	729	196	529	333	169.8
	計 (A+B) C		17,523	17,251	18,891	16,837	20,241	3,404	20.2
総 収 益 D	81,739	83,681	81,717	81,321	81,851	530	0.7		
資 本 的 収 入 E	6,883	7,639	21,335	14,864	29,787	14,923	100.4		
繰 入 率	総収益に対する繰入率 A/D	15.5	15.3	16.2	14.6	14.0	▲0.6	—	
	資本的収入に対する繰入率 B/E	70.0	58.4	26.5	33.2	29.4	▲3.9	—	
一 床 当 た り	収 益 的 収 入 (千円)	2,698	2,787	3,004	2,755	2,822	67	2.4	
	資 本 的 収 入 (千円)	1,023	972	1,284	1,144	2,149	1,005	87.8	
	計 (千円)	3,721	3,759	4,288	3,899	4,971	1,072	27.5	

※ 一床当たり繰入金 =  $\frac{\text{他会計繰入金}}{\text{年度末病床数}}$

オ 職員給与費の状況

職員1人当たり平均給与月額、医師が144万8,895円、看護師が43万9,832円、准看護師が47万2,569円、事務職員が50万5,466円、その他の職員が42万5,867円、全職員平均では54万8,238円で、前年度に比べ4,584円(0.8%)減少している。

第7表 職員別給与(平均給与月額)の状況の推移

(単位:円、%)

年 度 項 目	21	22	23	24 a	25 b	対前年度比較	
						b - a c	(c/a) ×100
医 師	1,508,101	1,490,980	1,476,590	1,457,526	1,448,895	▲8,631	▲0.6
看 護 師	450,509	445,861	443,400	445,292	439,832	▲5,460	▲1.2
准 看 護 師	503,378	487,603	469,958	470,854	472,569	1,715	0.4
事 務 職 員	506,612	517,860	508,972	505,582	500,546	▲5,036	▲1.0
そ の 他 職 員	450,415	438,311	432,573	428,234	425,867	▲2,367	▲0.6
全 職 員	562,322	558,043	552,007	552,822	548,238	▲4,584	▲0.8

(注)1 管理者及び臨時職員を除く。

2 平均給与月額=(基本給+手当)/年間延職員数

3 平成22年度は、東日本大震災の影響により算出できない南三陸町の数値を除いている。

カ 業務量の状況

職員1人当たりの患者数は652人で、前年度に比べ27人(3.9%)減少しており、職員1人当たりの料金収入は1,352万7千円で、前年度に比べ14万8千円(1.1%)減少している。

病床100床当たりの職員数は、医師が16.8人、看護部門職員が86.5人、全職員では143.8人で、前年度に比べ13.3人(10.2%)増加している。

第8表 職員業務量の状況の推移

年 度 項 目	21	22	23	24 a	25 b	対前年度比較		
						b - a c	(c/a) ×100(%)	
職員1人当たり患者数 (人)	723	699	682	678	652	▲27	▲3.9	
職員1人当たり料金収入 (千円)	13,200	13,366	13,218	13,675	13,527	▲148	▲1.1	
病 床 100 床 当 たり 職 員 数	医 師 (人)	13.7	14.3	14.7	15.2	16.8	1.6	10.5
	看 護 部 門 (人)	73.1	77.0	78.5	78.7	86.5	7.8	9.9
	全 職 員 (人)	119.1	125.1	129.2	130.5	143.8	13.3	10.2

(注) 平成22年度の職員1人当たり患者数は、東日本大震災の影響により算出できない南三陸町の数値を除いている。



キ 材料費の状況

薬品等の医療材料費は147億93百万円で、前年度に比べ3億12百万円（2.2%）増加している。これを料金収入に対する割合で見ると22.5%で、前年度に比べ0.3ポイント上昇している。

医療材料費のうち、薬品費は81億7百万円で、前年度に比べ2億24百万円（2.8%）増加しており、患者1人当たりの薬品費は2,564円で、前年度に比べ126円（5.2%）増加している。

薬品使用効率は、投薬分が129.9%、注射分が83.0%、平均で99.0%となっており、前年度に比べ1.4ポイント低下している。

第9表 料金収入に対する材料費の状況の推移

（単位：百万円、%）

項 目		年 度					対前年度比較		
		21	22	23	24	25	b - a	(c/a)	
		a					c		
		b					×100		
料 金 収 入		64,771	66,908	63,788	65,204	65,634	430	0.7	
医 療 材 料 費		15,453	15,784	14,159	14,481	14,793	312	2.2	
う ち	薬 品 費	8,724	8,958	7,853	7,883	8,107	224	2.8	
	そ の 他 材 料 費	6,729	6,826	6,306	6,597	6,685	88	1.3	
料金収入 に対する 割 合	医 療 材 料 費	23.9	23.6	22.2	22.2	22.5	0.3	—	
	う ち	薬 品 費	13.5	13.4	12.3	12.1	12.4	0.3	—
		そ の 他 材 料 費	10.4	10.2	9.9	10.1	10.2	0.1	—
患者1人当たり薬品費（円）		2,458	2,607	2,387	2,438	2,564	126	5.2	
薬品使用 効 率	投 薬	123.8	123.1	135.3	126.5	129.9	3.5	—	
	注 射	85.4	85.4	86.6	85.5	83.0	▲2.5	—	
	平 均	99.7	99.9	104.0	100.4	99.0	▲1.4	—	

- (注)1 平成22年度の患者1人当たり薬品費は、東日本大震災の影響により算出できない南三陸町の数値を除いている。
- 2 平成22年度の薬品使用効率は、東日本大震災の影響により算出できない石巻市立病院、石巻市立雄勝病院及び気仙沼市立本吉病院の数値を除いている。